各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課 輸入食品安全対策室長 (公 印 省 略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について (中国産はも及びベトナム産えびのトリフルラリン)

標記については、平成25年3月30日付け食安輸発0330第1号(最終改正:平成25年5月15日付け食安輸発0515第3号)にて通知したところです。

本日、食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部が改正され、 本日より改正された基準値が適用されることから、同通知の別表1を下記のとおり改正 するので、御了知の上、関係営業者への周知方よろしくお願いします。

記

1. 中国の項中、

製品検査の対	条件	検査の項目	試験品採取	検査の方法	検査を受けることを命
象食品等			の方法		ずる具体的理由
はも及びその		トリフルラ	別表2の4	平成17年1月24日	基準値 (0.001ppm) を
加工品(簡易		リン	によるこ	付け食安発第012	超えるトリフルラリン
な加工に限			と。	4001号「食品に残	が検出されるおそれが
る。)				留する農薬、飼料	あるため。
				添加物又は動物用	
				医薬品の成分であ	
				る物質の試験法に	
				ついて」によるこ	
				と。	

を削除する。

2. ベトナムの項中、

製品検査の対象食品等 条件 検査の項目 試験品採取の方法 検査の方法 検査を受けることを命ずる具体的理由 えび及びその加工品(簡易な加工に限る。) クロラムフ によるこ ール、フラゾリドン、エンロフランリドン、エンロフロキサシンが残留し下まる。) フラゾリドン、エンロフロキサシンが残留しているおそれ、基準値(0.001ppm)を超えるトリフルラリン、エンロフロキサシン・エンロフロキサシン・エンロフロキサシン・エンロフロキサシン・エンロフロキサシン・エンロフロキサシン・エンロフロキサシンが検出されるおそれがあるため。 は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。 大リスート は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。						
えび及びその加工品(簡易な加工に限すが加工に限する。) クロラムフ 別表 2 の 4 クロラムフェニコ クロラムフェニコール、フラゾリドン、エンロフラゾリドン、エンロフロキサシン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	製品検査の対	条件	検査の項目	試験品採取	検査の方法	検査を受けることを命
加工品 (簡易な 加工 に限る。) に よる こ と。	象食品等			の方法		ずる具体的理由
な加工に限る。) フラゾリドと。 ン:昭和34年12月	えび及びその		クロラムフ	別表2の4	クロラムフェニコ	クロラムフェニコール、
る。) 厚生省告示第370 号「食品、添加物等の規格基準」によること。トリフルラリンが検出されるおそれがあるたりフルラリン、エンロフロキサシン:平成17年1月24日付け食案発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」	加工品(簡易		ェニコール	によるこ	ール、フラゾリド	フラゾリドン、エンロ
トリフルラ リン エンフロキ サシン	な加工に限		フラゾリド	と。	ン:昭和34年12月	フロキサシンが残留し
サシン	る。)		ン		厚生省告示第370	ているおそれ、基準値
エンフロキ サシン よること。 トリフルラリン、 エンロフロキサシン: 平成17年1月 24日付け食案発 第0124001号「食 品に残留する農 薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」			トリフルラ		号「食品、添加物	(0.001ppm) を超える
サシントリフルラリン、 エンロフロキサシン: 平成17年1月 24日付け食案発 第0124001号「食品に残留する農 薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」			リン		等の規格基準」に	トリフルラリンが検出
エンロフロキサシ ン: 平成17年1月 24日付け食案発 第0124001号「食 品に残留する農 薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」			エンフロキ		よること。	されるおそれがあるた
ン: 平成17年1月 24日付け食案発 第0124001号「食 品に残留する農 薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」			サシン		トリフルラリン、	め。
24日付け食案発 第0124001号「食 品に残留する農 薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」					エンロフロキサシ	
第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の 試験法について」					ン:平成17年1月	
品 に 残 留 す る 農 薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」					24日付け食案発	
薬、飼料添加物又 は動物用医薬品の 成分である物質の 試験法について」					第0124001号「食	
は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」					品に残留する農	
成分である物質の試験法について」					薬、飼料添加物又	
試験法について」					は動物用医薬品の	
					成分である物質の	
					試験法について」	
によること。					によること。	

を

	_					
1	製品検査の対	条件	検査の項目	試験品採取	検査の方法	検査を受けることを命
	象食品等			の方法		ずる具体的理由
	えび及びその		クロラムフ	別表 2 の 4	クロラムフェニコ	クロラムフェニコール、
	加工品(簡易		ェニコール	によるこ	ール、フラゾリド	フラゾリドン、エンロ
	な加工に限		フラゾリド	と。	ン:昭和34年12月	フロキサシンが残留し
	る。)		ン		厚生省告示第370	ているおそれがあるた
			エンフロキ		号「食品、添加物	め。
			サシン		等の規格基準」に	
					よること。	
					エンロフロキサシ	
					ン:平成17年1月	
					24日付け食案発	
					第0124001号「食	
					品に残留する農	
					薬、飼料添加物又	
					は動物用医薬品の	
					成分である物質の	
					試験法について」	
					によること。	